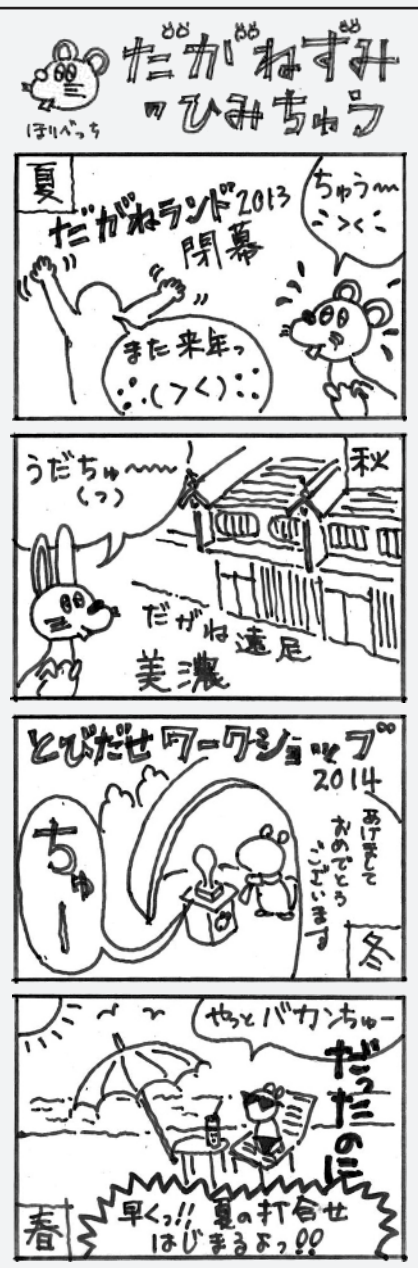

盛り沢山のイベント

まちに　まった　まち体験

オープンだがね 8月7日

いよいよ待ちに待った「だがねランド2013」の開催だ！　約2週間かけてつくられた「だがねのまち」を楽しみに、多くの子どもたちがやって来た。

恒例のくす玉わりをして、子どもたちの手で計画し、建設したまちを楽しむ。

さよならだがね 8月24日

子どもの目にも涙 スタッフも感動!!

夏祭り 8月14日

普段は、前半と後半の２回まち遊びが行われるが、この日は「さよならだがね」ということで、まち遊びは前半１回だけが行われた。今年最後ということもあり、工房・工場、まちの中に多くの子どもがあふれた。

後半は、まちの解体である。参加した子どもたちみんなで建物を解体し、更地に戻す。来年もだがねランドを開催するために、木製のフレームキットや、木造建築のフレームは残して、段ボールなどで出来た屋根、壁、扉などの部材をはずし、ごみとリサイクル部材に仕分けする。ストリートファニチャーでつかった紙管も、来年以降のだがねランドには必要な部材であるため、その解体には子どももスタッフも慎重になった。一部を残して、無事解体作業を終えた。

きれいに片付いた大研修室で、だがねランドをしめくくるスライドショームービーを見た。毎年都市センターのスタッフがつくる秀作である。

長いようで短かった１ヶ月間を振り返り、子どももスタッフも胸を熱くした。口々に来年の参加を宣言して帰る子どものうしろ姿に、だがねオールスターズ全員で手を振った。

だがねデザイン賞（DD賞）

毎日、工房でつくられる商品の中から、優れたデザインの商品を選んで表彰する制度。工房長（学生スタッフ）が、一日1点選ぶことになっている。

アイデアが優れた作品、凝った細工が施された作品など、甲乙つけがたい商品が集まると、工房長は頭を悩ませた。だがねデザイン賞を狙って、商品づくりに熱の入る子どもたちもいる。

最終日（さよならだがね）には、毎日選ばれた「だがねデザイン賞」の中から、スタッフ全員が投票して「DAS賞」「だがねずみ賞」「都市センター賞」の3つの大賞を決めて、授賞式を行った。

町長選挙と議会

民意は反映されたか？

だがねランドでは、つくったまちをより良くするために、町長選挙（２回）と議会（１回）が開催される。

町長選挙①　8月11日

だがねランド2013が始まってはじめての町長選挙が行われた。3名（男の子2名、女の子1名）が立候補し、それぞれがだがねランドへの想いや公約を掲げ、選挙戦をたたかった。最終的には男の子2名の争いになり、接戦を制した男の子は、念願の町長になった。新町長は次点の男の子を副町長に任命し、二人でだがねランド2013のまちをよくする政策を展開した。

町長選挙②　8月21日

2回目に行われた町長選挙は、現職の町長と対立候補者1名（女の子）の一騎打ちとなった。選挙前の街頭演説では、現職町長は1期目の功績をアピールし、対立候補はさらに楽しいまちを実現することを公約にして支持を求めた。開票と同時に、現職町長が票を伸ばし、連続当選となった。2期目を迎え、新たな気持ちでまちを良くするとの所信表明演説をした。

議会　8月18日

小学2年生から中学1年生の8名の議員により、だがね議会が開催された。まちの現状を見てまわり、まちの課題をみつけ、問題解決のために議論した。終わりの会で、議論したことを発表し、まちの改善につとめた。

自由研究応援プロジェクト

夏と言ったら…

自由研究応援プロジェクトは、今年から始まった企画で、まち・建築・だがねランド関連するテーマの自由研究に、建築を学ぶ大学生、名古屋の街に詳しい名古屋都市センター職員がアドバイスをする。二人の子どもがこの企画に参加し、それぞれに自由研究をまとめた。

8月23日に、研究発表会が開催され、二人はその日参加した子どもたちの前で研究成果を発表した。

夏祭り　8月14日

だがねランドでも、夏祭りは、夏のお楽しみの一つだ。「風船バレーボール」「射的」「紙コップタワー競争」「世界のタワー輪投げ」「名古屋市の区パズル」などのまちや建築にちなんだ楽しいゲームが用意され、名古屋都市センターの職員による手品ショーで幕をあけた。夏休みに開催されるだがねランドのいつもと違う特別な一日になった。

最後は、学生スタッフによるクイズ「アタック16」が行われた。ストリートファニチャーワークショップでつくったロッカー（1／16サイズ）を活用し、表の扉の色をオセロ形式で増やしていくクイズだ。アーキテクちゅう試験の問題や、たみおオリジナルの珍問に解答者も四苦八苦。

参加した子どもチーム（3チーム）と、それを応援する子どもたちで大いに盛り上がりを見せた。